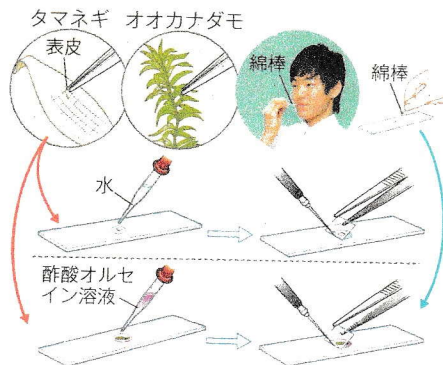


用語の確認

- ① 生物の体は(細胞)でできていて、これはすべての生物の基本単位である。
- ② 植物と動物の細胞に共通して見られるつくりは、染色液でよく染まる(核)と、そのまわりにある(細胞質)である。
- ③ ゾウリムシやミカヅキモなどのように一つの細胞で体ができている生物を(単細胞生物)、ヒトなどのようにさまざまな種類の、多数の細胞からできている生物を(多細胞生物)という。
- ④ 多細胞生物は、形やはたらきが同じ細胞が集まって(組織)をつくり、いくつかの組織が集まって特定のはたらきをもつ(器官)をつくる。さらに器官がいくつか集まり、一つの(個体)がつくられる。
- ⑤ 細胞内で酸素をとり入れ栄養分を分解してエネルギーをとり出し、二酸化炭素を出すはたらきを(細胞呼吸)という。

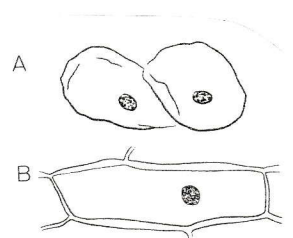
観察・実験の確認

- ① 植物の細胞として、タマネギの表皮とオオカナダモの葉でプレパラートをつくる。水を1滴落としたものと酢酸オルセイン溶液で染色したものを用意する。
- ② 動物の細胞として、ヒトのほおの内側を綿棒でこすって採取し、染色してプレパラートをつくる。
- ③ ①、②を顕微鏡で観察する。



① 酢酸オルセイン溶液によく染まるのは、細胞内のどの部分か、名称を答えなさい。
(核)

② 右のA・Bは方法③の顕微鏡による観察で、細胞をスケッチしたものである。植物の細胞はA・Bのどちらか、そう考えた理由も答えなさい。
(B) (細胞壁がかかっているから)



③ ②で答えた植物の細胞は、タマネギの表皮の細胞とオオカナダモの葉の細胞のどちらのものか、そう考えた理由も答えなさい。
(タマネギの表皮) (葉緑体がかかっているから)